基礎教育科目　講義科目

科目名：	簿記を基本から学ぶ	科目コード	AA63
		単位	2
科目主査： 依田 朗裕	担当講師： 鯨岡 健太郎、早川 勉、矢島 正、依田 朗裕	配当年次	1

授業の目的と概要	グループワーク： ☐ あり ☑ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

会社員として企業に所属している人も、独立している人も区別なく、誰もがビジネスに関わり、その結果として「お金」という収入を得て生活しています。簿記は、その「お金」を得るためのビジネスの取引をシンプルに数字で示す共通の言葉です。その意味で簿記は「お金」についての最も基本的な知識といえます。
本科目は、初めて簿記を学ぶ人を対象とし、簿記の基本的な骨組みを徹底的に学ぶことで、経営者の視点を身に付け、ビジネスの世界をより深く理解できるようになることを目指します。また、日商簿記検定３級の資格取得を目指す方に向けた、「３級入門」の役割を担う科目でもあります。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	初学者対象のスクーリングですが、簿記の学習経験があり、理解度を高めたい方も大歓迎です。スクーリングの受講効果を高めるため、事前学習は重要です。必ず事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし、講義中にチャットで質問できるようにしておきましょう。	
テキスト	『まずはこの本から！はじめての人の簿記 入門塾』浜田 勝義,かんき出版,最新版	

この科目の 到達目標	①取引を２つの側面から捉える複式簿記の特徴を理解し、基本的な取引の仕訳（取引をシンプルに示す簿記上の表現）が作成できる。 ②複式簿記の一連の流れの理解と実践、具体的には仕訳から総勘定元帳（「現金」などの各項目の明細）へ転記ができ、総勘定元帳から試算表（「現金」などの各項目の残高一覧表）を作成できる。 ③貸借対照表と損益計算書の特徴を理解し、試算表からこれらを作成できる。
成績評価 の 方 法	１日目終了後の課題及び最終試験の点数に、講義中の取り組み姿勢（チャットの発言や質問の積極性）を加味して評価します。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	本学通信の科目では、「簿記３級をめざす」が本科目の次に学ぶ科目としての位置づけです。スクーリングも開講しています。この科目では日商簿記３級の取得を目指して、より深く細かく簿記を学びます。折角学んだ簿記の知識をさび付かせないために、この科目を履修し、スクーリングを受講し、さらに日商簿記３級にチャレンジすることをお勧めします。
事後学習の 参考文献	『らくらく学ぶ！日商簿記３級光速マスターNEOテキスト』東京リーガルマインド,最新版 『日商簿記３級 みんなが欲しかったやさしすぎる解き方の本』滝澤 ななみ,TAC出版,最新版 『マンガで学べるはじめての簿記入門』添田裕美,西東社,2021年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑電卓 ☑カメラ・マイクは必須となります。